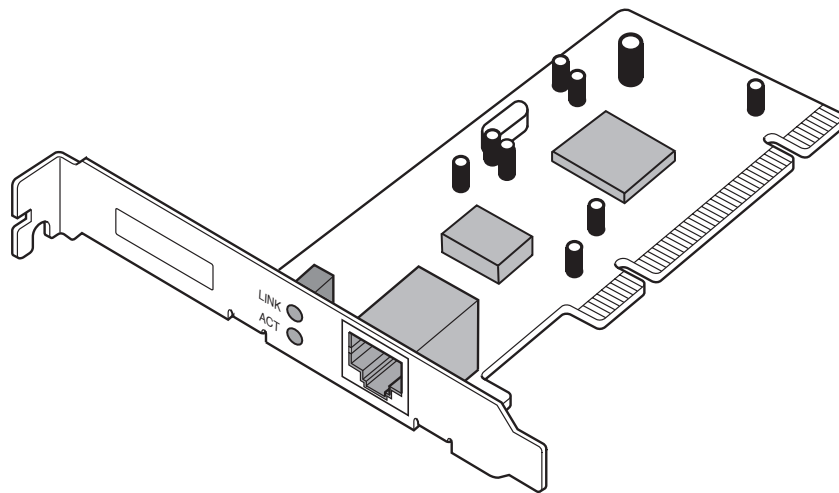




# CG-LAPCIGT2

詳細マニュアル

Windows 98SE 編



# 1. Windows 98SEへのインストール

本製品のドライバをWindows 98SEにインストールする手順を説明いたします。ここでご紹介する手順は、ネットワークアダプタ用ドライバを含む、ネットワーク環境がまったく構成されていない状態を前提としておりますので、予めご了承ください。



以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書ではDOS/V、PC98-NXへのインストールを例にして説明します。

## 1-1 用意するもの

---

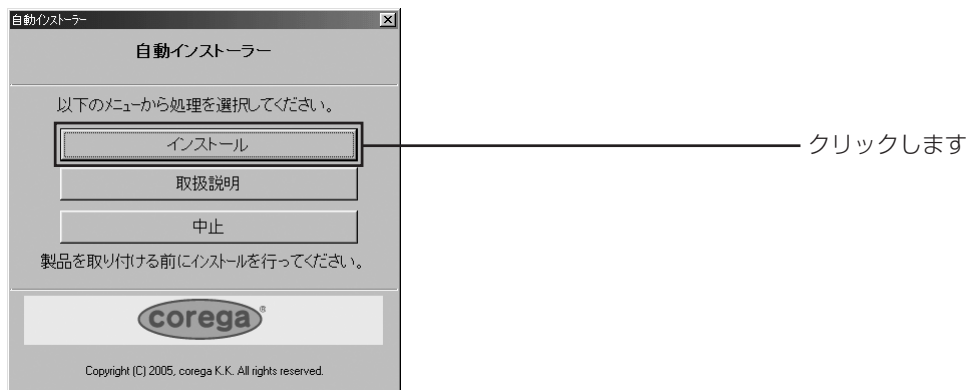
- ・本製品 (CG-LAPCIGT2)
- ・LANケーブル
- ・本製品のユーティリティディスク (CD-ROM)
- ・Windows 98SE の供給メディア (CD-ROM または フロッピーディスク)
- ・パソコン (Windows 98SE インストール済み)



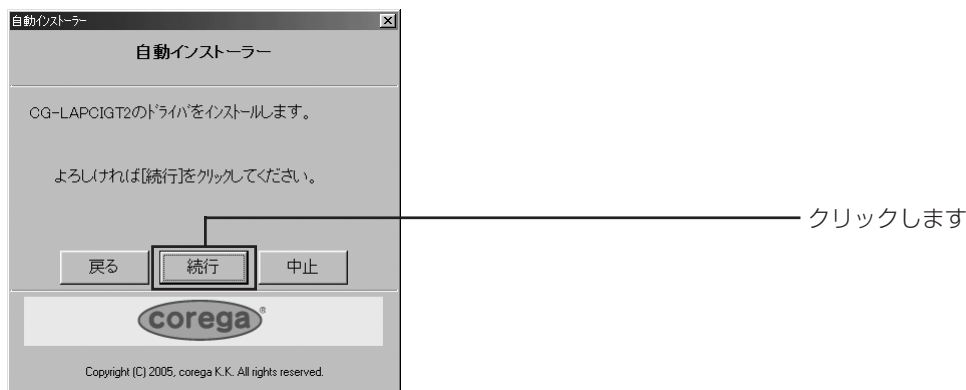
Windows 98SEがパソコン購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されているときは (プリインストール版)、Windows 98SEのバックアップCD-ROMが付属していることをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していないときは、安全のため、必ずフロッピーディスク等にWindows 98SEのバックアップをとった後でドライバのインストールをはじめてください。バックアップの手順は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

## 1-2 ドライバの新規インストール

- 1 本製品をパソコンのPCIバススロットに取り付けていない状態で、パソコンの電源をオンにし、Windows 98SE を起動します。
- 2 パソコンのCD-ROM ドライブに本製品のユーティリティディスクを入れます。
- 3 自動的に次のような画面が表示されます。表示されない場合は「マイコンピュータ」－「CD-ROM アイコン」の順にダブルクリックしてください。



- 4 「続行」をクリックします。



- 5 「完了」をクリックします。



- 6 ユーティリティディスクを取り出します。
- 7 本製品をパソコンのPCIバススロットに取り付けます（取り付け方法については次ページをご覧ください）。

## 1-3 本製品の取り付け

- 1 パソコン上で動作しているソフトウェアをすべて終了し、パソコンの電源をオフにします。
- 2 パソコンの電源プラグを電源コンセントから抜き、パソコンの本体カバーを外します。



本製品をパソコンのPCIバススロットへ取り付ける際は、必ずパソコンの電源をオフにして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源をオンにしたまま本製品の取り付けを行うと、パソコンや本製品の故障の原因になることがあります。また、火災や感電、けがの原因になる恐れがあります。

- 3 PCIバス用の空きスロットを確認します。PCIバススロットの位置は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 4 スロットカバーを固定しているネジを外し、スロットカバーを外します。



取り外したネジを紛失しないように注意してください。

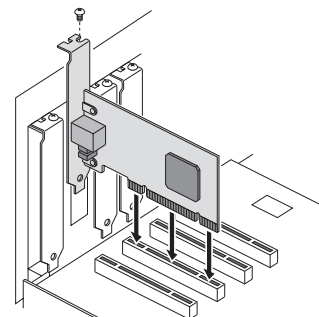
- 5 本製品をPCIバススロットにしっかり奥まで差し込み、手順4で外したネジを使用して、本製品を固定します。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクタの接点部分、部品などに素手で触れないでください。



このネジは必ず取り付けてください。



- 6 パソコンの本体カバーを取り付けます。
- 7 パソコンの電源プラグを電源コンセントに差し込み、パソコンの電源をオンにします。
- 8 ドライバ情報データベースが更新されます。
- 9 お使いの環境によってはWindows 98SEのCD-ROMを要求するダイアログボックスが表示されますので、表示された場合はWindows 98SEのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」をクリックします。



クリックします

- 10 「再起動しますか？」という画面が表示されたら、「はい」をクリックして再起動します。

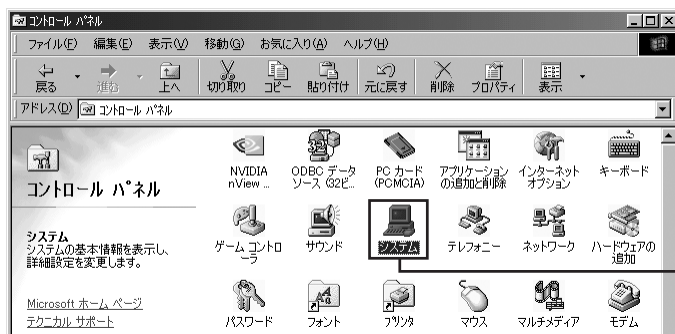
以上で本製品の取り付けは完了です。引き続き「インストールの確認」(次ページ)を行ってください。

## 1-4 インストールの確認

インストール完了後、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

### ●デバイスマネージャによるインストールの確認

- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」 の「システム」 をダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 3 「デバイスマネージャ」 タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」 アイコンの左の「+」 をクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」 の下に「CG-LAPCIGT2」が表示されます。



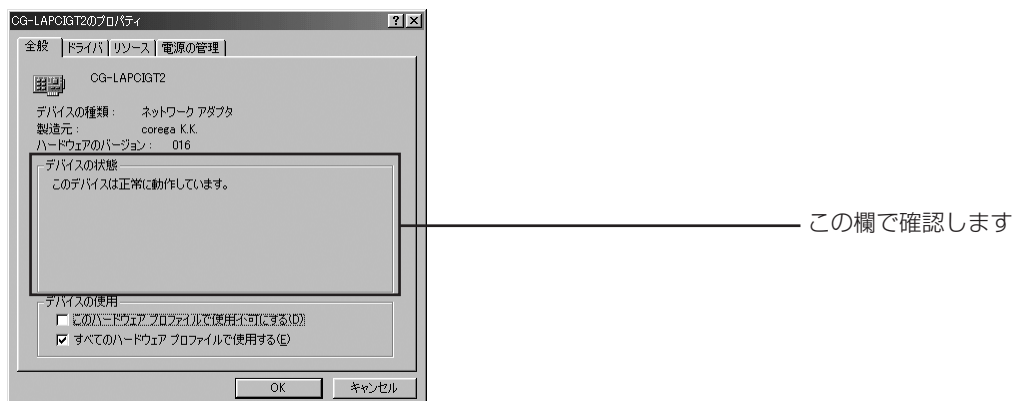
①クリックします

②確認します



本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「ドライバのインストール」をご覧ください。

- 4 「CG-LAPOIGT2」をダブルクリックし、「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。



- 5 以上でインストールの確認作業は完了です。

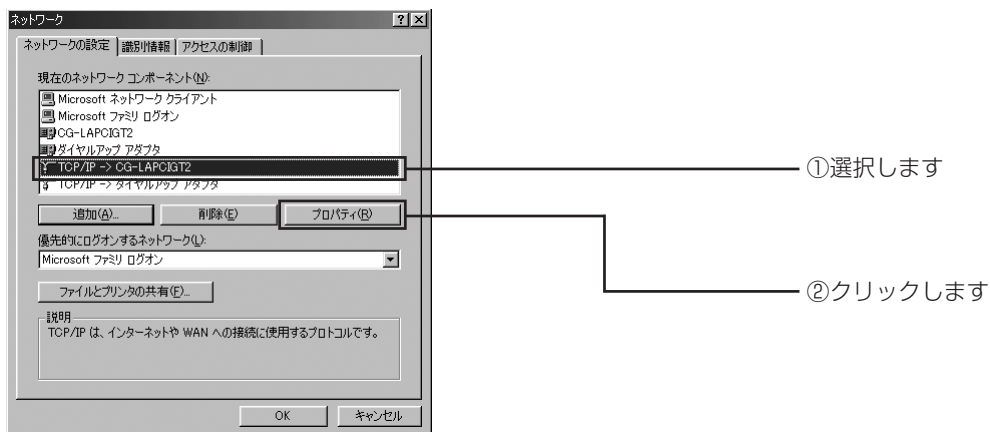
## ●ネットワークの設定

お使いのネットワークに関する設定を行います。

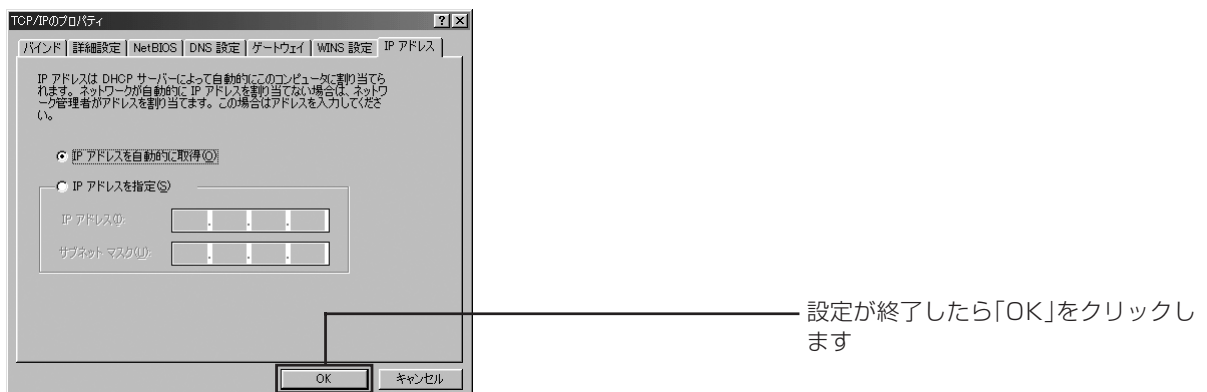
- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」－「ネットワーク」をダブルクリックします。



- 2 「TCP/IP → CG-LAPCIGT2」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



- 3 TCP/IPの設定をお使いのネットワークにあわせて行います。設定が終了したら「OK」をクリックします（画面は一例です）。

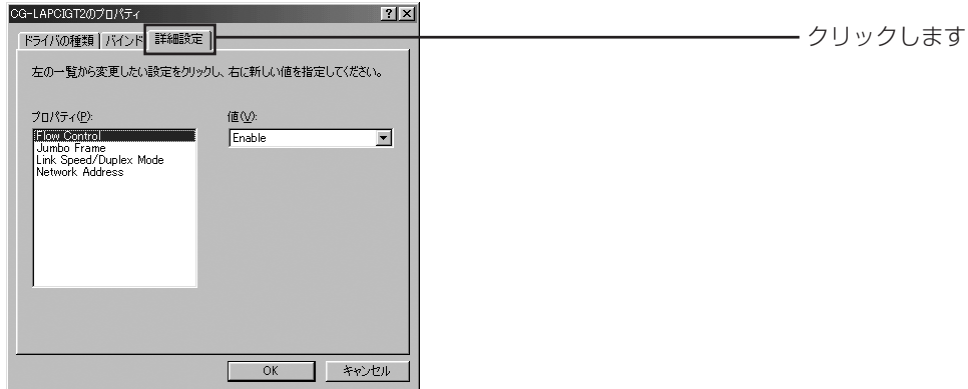


- 4 手順2の画面に戻りますので、「OK」をクリックして設定を終了します。

## ●ドライバの設定

ドライバの設定を、お使いのネットワークに合わせて設定することができます。

- 1 「コントロールパネル」－「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 2 「CG-LAPCICT2」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細設定」タブをクリックします。



各設定項目については、以下のとおりです。

## ●設定項目

ここで変更したドライバの設定は、再起動後に有効になります。

プロパティ	値	内容
Flow Control	Enable (工場出荷時設定)	ノードに通信パケット送出を止めさせて、バッファがあふれないようにする機能です。
	Disable	
Jumbo Frame	Disable (工場出荷時設定)	MTUのサイズを調整することができます。この機能を使うには、接続先機器もJumbo Frameに対応している必要があります。
	2KB MTU	
	3KB MTU	
	4KB MTU	
	5KB MTU	
	6KB MTU	
	7KB MTU	
Link Speed / Duplex Mode	Auto-Negotiation (工場出荷時設定)	通信速度 (1000M/100M/10M) と通信モード (Full Duplex/Half Duplex) を自動的に切り替えて通信します。
	1000Mbps/Full Duplex	通信速度 (1000M/100M/10M) と通信モード (Full Duplex/Half Duplex) を固定して通信します。
	100Mbps/Full Duplex	
	100Mbps/Half Duplex	
	10Mbps/Full Duplex	
	10Mbps/Half Duplex	
Network Address	存在しない(工場出荷時設定)	本製品のMACアドレスを変更することができます。
	値	



「Jumbo Frame」および「Link Speed/Duplex Mode」以外の項目は変更しないでください。



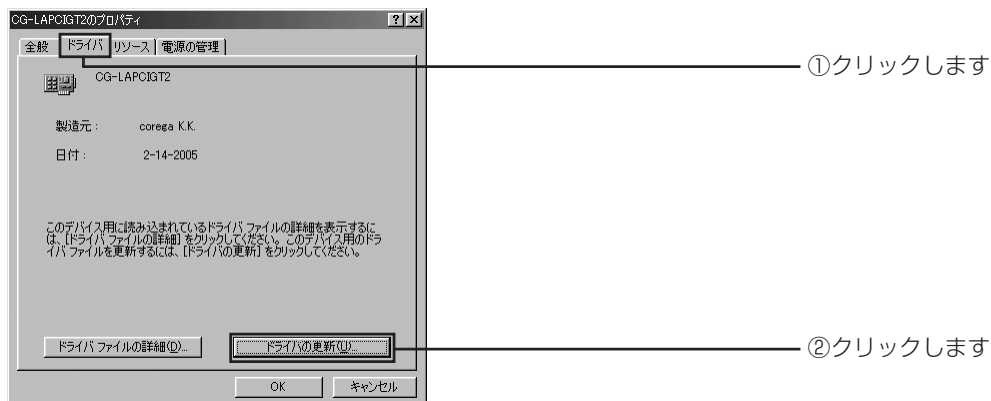
通信モード (Full Duplex/Half Duplex) はLEDの動作では確認できません。



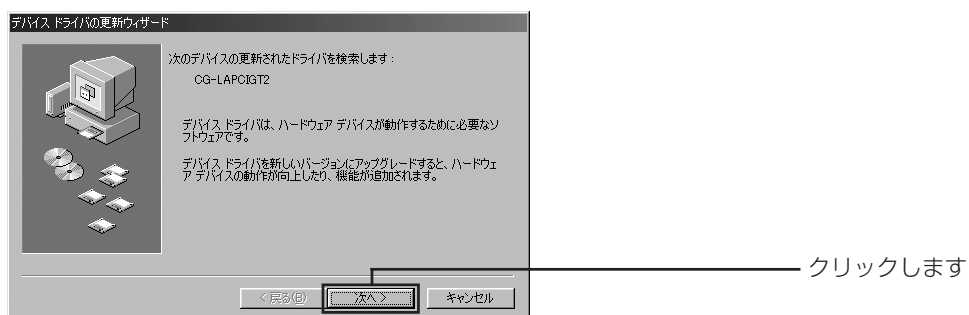
## 1-5 ドライバの更新

弊社のWebページ (<http://www.corega.co.jp/>) から最新のドライバを入手したときは、次の手順に従ってドライバを更新してください。

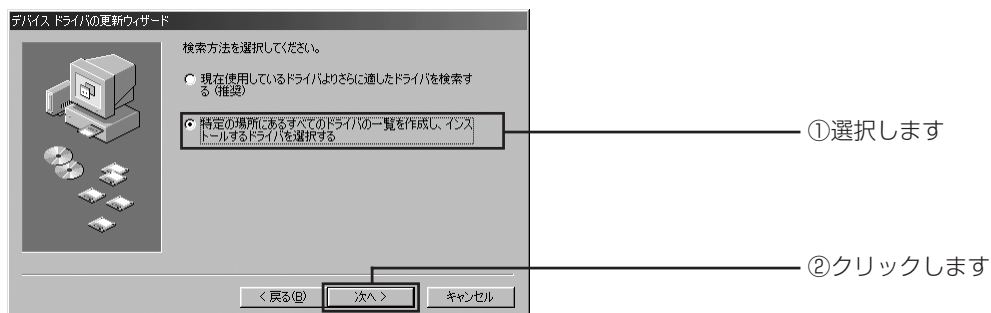
- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」－「システム」をダブルクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」の「CG-LAPCI GT2」をダブルクリックします（「デバイスマネージャ」の表示方法は P.5 をご覧ください）。
- 3 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。



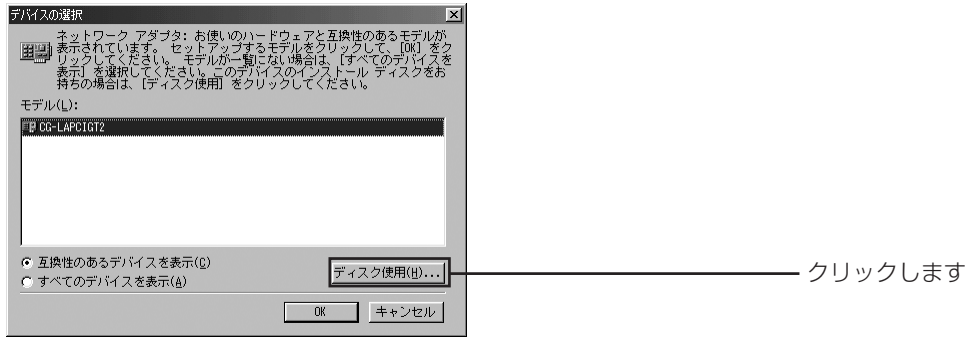
- 4 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されるので、「次へ」をクリックします。



- 5 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。



- 6 次の画面が表示されるので、「ディスク使用」をクリックします。

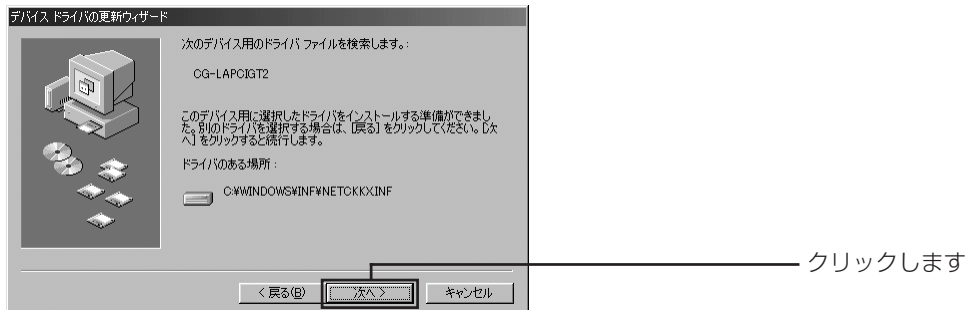


- 7 「参照」をクリックし、最新のドライバが保存されているフォルダを指定した後、「OK」をクリックします（この例では入手したドライバが「C:¥COREGA¥LAPCIGT2¥W98SE」に保存されていると仮定しています）。



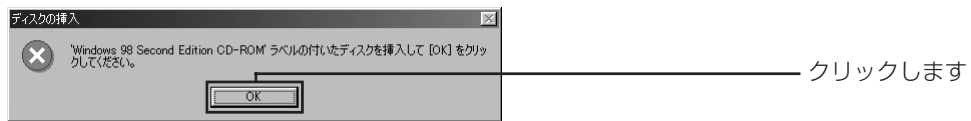
- 8 手順6の画面に戻りますので、「OK」をクリックします。

- 9 「デバイス用のドライバファイルの検索」欄に「CG-LAPCIGT2」が、「ドライバのある場所」に入手したドライバの保存場所が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

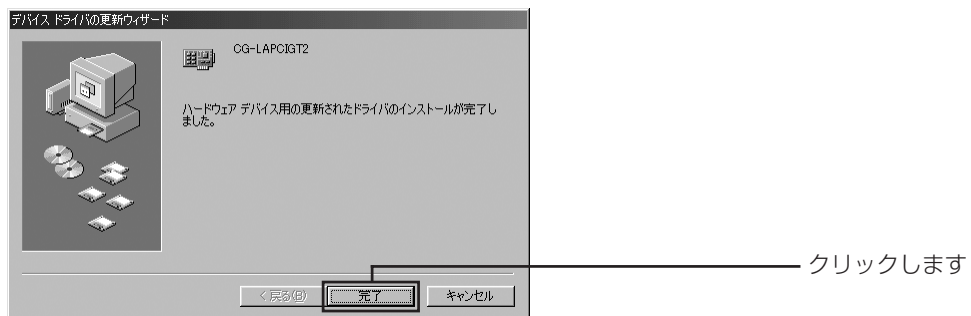


「○○○が見つかりません」などと表示された場合は、「ファイルのコピー元」に最新ドライバの保存場所を入力し、「OK」をクリックします（例では「C:¥COREGA¥LAPCIGT2¥W98SE」となります）。

- 10 お使いの環境によってはWindows 98SEのCD-ROMを要求するダイアログボックスが表示されますので、表示された場合はWindows 98SEのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」をクリックします。



- 11 ドライバの更新が終了したら「完了」をクリックします。



- 12 再起動を促すダイアログボックスが表示されるので、「はい」をクリックし、パソコンを再起動します。

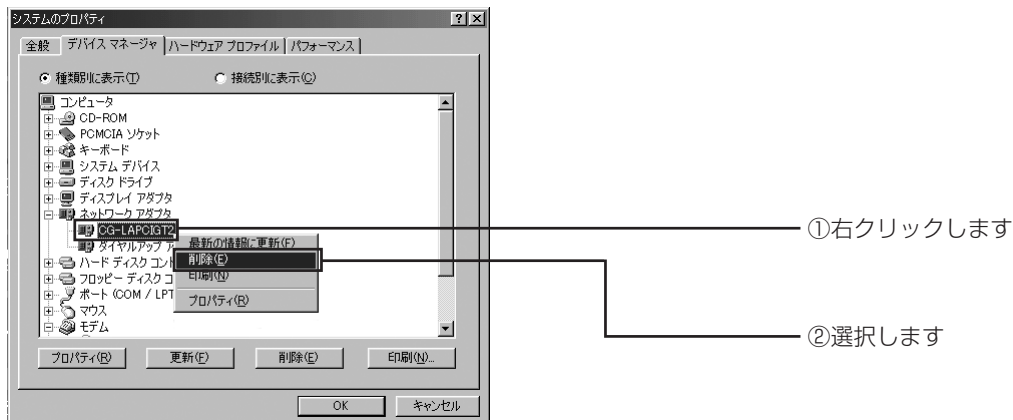


- 13 以上でドライバの更新作業は完了です。

## 1-6 ドライバの削除

ドライバを削除する時に本製品が取り外されている場合は、本製品を一度PCIバススロットに取り付け、手順にしたがってドライバを削除してください（取り付け方法はP.4をご覧ください）。

- 1 「コントロールパネル」－「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示させます（「デバイスマネージャ」の表示方法はP.5をご覧ください）。
- 2 「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックし、「CG-LAPCI GT2」を右クリックして「削除」を選択します。



- 3 「デバイス削除の確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



- 4 再起動を促すダイアログボックスが表示されますので、「はい」をクリックして再起動します。



- 5 「デバイスマネージャ」で、本製品のアイコンが消えていることを確認してください。



- 6 Windows 98SE をシャットダウンし、パソコンの電源をオフにして、本製品を取り外します（取り外し方法については P.14 をご覧ください）。
- 7 以上でドライバの削除の手続きは終了です。

## 1-7 ドライバの再インストール

ドライバの再インストールを行うときは、ドライバを一旦削除してから行います。ドライバのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバを削除してから再インストールを行います。ドライバの再インストールする手順は以下の通りです。

- 1 「1-6 ドライバの削除」(P.12) の手順にしたがい、本製品のドライバを削除します。
- 2 「1-3 ドライバの新規インストール」(P.3) の手順にしたがい、本製品のドライバをインストールします。

## 2. 設置・接続



- ・本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。
- ・本製品の内部には、最新のIC類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- ・雷が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。
- ・スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品やLANケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンへの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行時や、スタンバイ状態からの復帰時の不具合につきましては、サポート対象外とさせていただきます。

### 2-1 本製品の取り外し

#### ①本製品のドライバを削除する

- 1 「ドライバの削除」(P.12) を参照して、ドライバを削除します。
- 2 再起動するように指示が出ますが、「いいえ」をクリックします。
- 3 パソコンを終了させ、電源をオフにします。

#### ②本製品をパソコンから取り外す



パソコンの本体カバーの取り付けや取り外し、PCIバススロットの位置については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 1 パソコンの電源プラグを電源コンセントから抜きます。



パソコンから本製品を取り外すときは、必ずパソコンの電源をオフにして、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。電源をオンにしたままこの作業を行うと、パソコンや本製品の故障の原因になる恐れがあります。

- 2 パソコンの本体カバーを外します。
- 3 本製品を固定しているネジを外します。
- 4 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜くときは左右に振らず、まっすぐ引き抜いてください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクタの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- 5 スロットカバーを元どおりに取り付けます。
- 6 パソコンの本体カバーを取り付けます。以上で本製品の取り外しは完了です。

## 2-2 LANへの接続

---



雷が発生しているときは、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。

- 1 LANケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品のRJ-45モジュラジャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込む際にはLANケーブルの両端のプラグのどちらを差し込んでかまいません。



LANケーブル (UTPケーブル：シールドなしツイストペアケーブル) はエンハンスド・カテゴリ5以上のものをおすすめいたします。

- 2 LANケーブルを軽く引っ張って、抜けないことを確認します。
- 3 LANケーブルのもう一方のプラグをハブ (またはスイッチ) のモジュラジャックに差し込みます。手順は上記の手順1および手順2と同様です。



接続した対向機器 (ハブまたはスイッチ) との状態が正常であれば、本製品 (CG-LAPCIGT2) 側はLINK LEDが緑に点灯します (データを送受信するとACT LEDが緑に点滅します)。なお、LINK LEDが点灯しないときは、「トラブル解決Q&A」の「ネットワークのトラブル」をご覧ください、ご使用のLANケーブルや接続先機器を再度ご確認ください。

### ●LANケーブルの外し方

プラグのツメを指で押さえながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

## おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2005 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2005年3月 初版